

令和3年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	休眠預金等活用に関する調査等に必要な経費			担当部局庁	政策統括官(経済社会システム)	作成責任者			
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	休眠預金等活用担当室	小川 敦之			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律			関係する計画、通知等	・経済財政運営と改革の基本方針2019・2020・2021 ・休眠預金等交付金に係る資金の活用に関する基本方針(平成30年3月30日内閣総理大臣決定) ・2021年度休眠預金等交付金活用推進基本計画(令和3年2月25日内閣総理大臣決定) ・拡大版SDGsアクションプラン2019、SDGsアクションプラン2020				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律(平成28年法律第101号。以下「法」という。)により、法に基づき設置された休眠預金等活用審議会(以下「審議会」という。)において、基本方針及び基本計画の審議をすることになっている他、内閣総理大臣が指定活用団体に対し、民間公益活動促進業務に関し監督上必要な命令をすることになっている。これを踏まえ、審議会における議論及び指定活用団体に関する適切な監督に資するために、休眠預金等の活用に必要調査を実施する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	休眠預金について、法では、団体に対して出資・貸付を行う事が可能であると規定されているが、様々な課題があることから、運用上助成のみとなっている。休眠預金を活用した出資・貸付に関する先行事例として、英国の団体の投融資の現状について、事例を中心に実態等を把握し、課題を整理する。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求			
	予算の状況	当初予算	44	29	25	25	20		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	0		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計	44	29	25	25	20			
	執行額	24	27	13					
	執行率(%)	55%	93%	52%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	55%	93%	52%					
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	市民活動促進等調査費	24	19						
	庁費	0.8	0.8						
	職員旅費	0.2	0.3						
	計	25	20						
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と平成30～令和2年度の達成状況・実績					
	本調査は、審議会での議論及び指定活用団体の適切な監督に資するために行うものであり、直接的な成果を求めるものではなく、定量的な成果目標を設定することは適さない。			定性的な目標:基本計画策定等に向けた審議会での議論の推進 平成30年度:我が国の社会的事業に対する資金的及び非支援的支援の実態に関する調査、社会課題の解決に寄与する活動に対する資金提供に関する海外調査等を実施。2019年度基本計画に盛り込む2019年度の本制度の運用方針に活用された。 令和元年度:休眠預金等活用国際シンポジウム及び社会課題の解決における成果最大化に向けた協働の海外事例調査等を実施。2020年度基本計画に盛り込む2020年度の本制度の運用方針に活用された。 令和2年度:休眠預金を活用した出資・貸付に関する英国の事例調査を実施。2021年度基本計画に盛り込む2021年度の本制度の運用方針に活用された。					
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
	基本計画の策定等について審議会での議論を行う	審議会の開催	実績		7	6	12	-	-
			目標値		12	6	12	-	-
達成度			%	58	100	100	-	-	

活動指標及び活動実績(アウトプット)		活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	4年度活動見込
		基本計画等の策定について審議会での議論に資する調査の実施件数							
		執行額/調査数		単位当たりコスト	8	9	13		
				計算式	/	24/3	27/3	13/1	
生 計 画 と 財 政 再 関 連	政策評価	政策	3. 経済財政政策の推進						
		施策	⑦民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する制度の運用						
事業所管部局による点検・改善									
		項目			評価	評価に関する説明			
国 費 投 入 の 必 要 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	休眠預金等の活用に当たっては、透明性の確保や多様な意見が適切に反映されるように配慮されるべきであり、審議会での十分な議論を行う必要がある。その議論に資するため調査であり、国民や社会のニーズを的確に反映している。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	政府が審議会での議論を踏まえて基本計画を策定することとなり、そのための調査を行うもので、国が実施することが適当である。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	基本計画の策定等について審議会での議論に資するための調査を行うための経費であり、休眠預金等の活用に当たり必要な優先度の高い事業である。				
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	・支出先の選定に当たっては、基本的には一般競争入札又は見積り合わせを行うことにより競争性のある調達方式としている。 ・一者応札に関しては、複数の業者へ呼びかけを行ったものの、結果として1社のみの方の応札となった。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有					
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	会計部署の定める規則等に基づいて実施した入札により支出先を選定しているため、単位当たりコスト等の水準は妥当である。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	休眠預金を活用した出資・貸付に関する先行事例調査に必要な経費等に限定されている。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	実施した結果、不用額が生じたこと等によるものであり、妥当である。				
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	入札時の仕様書作成に当たっては、真に必要なものに限り、多くの事業者が入札に参加できるような業務とする等により、競争性の確保やコストの低減に努めている。					
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			-					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	仕様書どおりに業務が実施されており、活動実績は見込みに見合ったものとなっている。				
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	英国の出資・貸付のヒアリングをもとに、報告書を作成。審議会等に報告を行う予定。 2021年度基本計画に盛り込む2021年度の本制度の運用方針に活用された。					
関 連 事 業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-					
	所管府省名	事業番号	事業名						

点検・改善結果	点検結果	・休眠預金を活用した出資・貸付に関する先行事例調査については、英国の① Big society capital②資金分配団体5団体③実行団体6団体に対して、ヒアリングを行い、英国における実態等を把握し、課題等について整理を行う事が出来た。 ・上記の成果について、2021年度の基本計画に盛り込む2021年度の本制度の運用方針に活用した。 ・限られた予算のなかで、成果を得られるように仕様書を作成し、入札を実施。市場価格調査を行う等コストの低減に努めた。
	改善の方向性	引き続き入札を実施し、競争性の確保やコストの低減に努めるとともに、適当な進捗管理等により、効率的な予算執行を行う。

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現 り 状 通	引き続き、事業の適切な実施及び説明責任を果たすとともに、一者応礼の是正に努めること。
------------------	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現 り 状 通	引き続き、事業の適切な実施及び説明責任を果たすとともに、一者応礼の是正に努める。
------------------	--

備考

民間公益活動促進のための休眠預金等活用ホームページ
https://www5.cao.go.jp/kyumin_yokin/index.html

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度				
平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度	内閣府 新29-0001			
平成30年度	内閣府 0015			
令和元年度	内閣府 - - 0016			
令和2年度	内閣府 - 0015			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">内閣府 13百万</div>
	委託【一般競争契約(総合評価)】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">A.株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所</div> 【休眠預金を活用した出資・貸付に関する先行事例調査】

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	調査経費	休眠預金を活用した出資・貸付に関する先 行事例調査	13			
	計		13	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社エヌ・ティ・ ティ・データ経営研究 所	1010001143390	休眠預金を活用した出資・ 貸付に関する先行事例調 査	13	一般競争契約 (総合評価)	1		